

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	広島県における日本語学習者に対する方言意識、方言教育の調査
Author(s)	シャニー ドバイアス,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 , 1998 : 113 - 127
Issue Date	1999-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039555
Right	
Relation	



広島県における日本語学習者に対する方言意識、 方言教育の調査

シャーニー・トバイアス

1. はじめに

私は初めて日本に来た時、三重県で留学したが、最初は関西弁が分からなくて、戸惑いの日々だった。周りの人たちが毎日使っている方言が理解できるようになりたかった。そして、自分が関西弁で話せるように教えてもらいたかった。先生や友人に聞いてだんだん関西弁を身につけた。方言で話せるようになった時、「内の人」になったような嬉しい気持ちで、方言に関心を持ち始めた。

最近、全国各地に居住する外国人が増加している。彼らが地域社会の中でコミュニケーションをうまくとれるために「日本語教育は全国共通語である」という認識を見直し、地域での日本語教育に「方言」を取り入れる必要性が話題になっている。この話題を広島大学の留学生の立場から考えていこうと思い、調査を行うことにした。

この調査は広島大学の日本語学習者を対象に、広島方言をどう考えているかを明らかにするために行ったものである。また、日本語教育において方言を教えるべきかどうかを日本人学生の意見も含めて調査を行った。そしてどういう順番でのレベルまで、どの段階で導入すべきかという意見を求めた。さらに、外国人が方言を覚えることに対して、日本人はどう考えているかを明らかにすることである。

2. 調査の方法・時期

対象者は日本人と留学生の2つのグループに分けてアンケート用紙を作った。留学生の調査は英語訳も用意した。アンケート作成にあたっては佐々木 史(1996)を参考とした。

留学生は広島大学の留学生センターで学んでいる人たちを対象にした。国籍、年齢、性別、来日期間、学習資格、日本語のレベル、日本人学生との交流に関する質問も入れた。対象者は留学生20人と日本人学生16人に答えてもらった。調査は7月17日と11月18日、広島大学の教育学部で行った。回答はほとんど選択式にした。

(2)

3. 調査の結果

(1) 広島県における日本語学習者の方言意識、方言教育の必要性についての調査

対象者：広島大学の留学生センターで学んでいる日本語学習者（20名）

国籍：中国 6、ニュージーランド 3、タイ 2、ポーランド 1、フランス 1、
ジンバブエ 1、韓国 1、チェコ 1、ロシア 2、オランダ 1、
アイルランド 1

来日期間：1ヶ月以下：0、1－6ヶ月：9、6ヶ月－1年：9、
1－2年：1、2年以上：1

広島大学での学習資格は研究生が9人で日本語、日本文化研修コースを取っている人が11人いた。

日本人との会話が理解できるかという質問に対して、15人が「ほとんど理解できる」と答え、3人が「半分ぐらい理解できる」と答えた。その理由として、「日本人との会話に慣れたから」が9人で一番多かった。

授業で勉強した日本語と周りの日本人が話す言葉を比べ、「半分くらい同じ、半分くらい違う」と答えた人は11人、「ほとんど同じ」と答えた人は7人、「かなり違う」は1人で「全然違う」と答えた人は1人いた。

広島方言についてどう思うかという質問に対して、「面白い」と思った人は11人、「好き」と答えた人は4人、「嫌い」は3人、「難しい」と思った人は1人、「何も感じない」人は1人いた。

広島方言と標準語の違いが分かるかどうかを聞くと、「分かる」、「大体分かる」、「あまり分からない」という答えが約3割ずつであった。ほかの地域の方言を聞くと、それが違う方言だと分かる人は9人で、あまり分からない人は2人、全然分からない人は8人いた。

どこの方言が好きなのかという質問に9人が答えた。「広島で暮らしているから」という理由で「広島方言」が2人、「大阪方言」が4人、「京都方言」が2人、「沖縄方言」が1人いた。理由として、「おもしろい」、「活発」、「柔らかい」「暖かい感じがする」「イントネーションが標準語と違っていい感じ」というのがあげられた。

17人は母語に方言があると答えた。母語の方言について、「かっこいい」、「おもしろい」、「地域の特徴や文化を表す」などというイメージがあると答えた。

日本人学生と日本語で話すとき、方言で話している人が8人いて、日本人が「びっくりする」、「笑う」、「ほめてくれる」というように反応すると答えた。

「広島方言が習いたい」という人は18人で、そのうち、「できるだけたくさんの方言を話せる程度に習いたい」が4人、「できるだけたくさんの方言を聞いて分かる程度に習いたい」が8人、「よく使われる方言だけ、話せる程度に習いたい」が2人で、「よく使われる方言だけ、聞いて分かる程度に習いたい」という人が4人いた。習いたい理由は「おもしろいから」が13人で一番多く、「居住地の方言を学ぶのは当然だから」と答えたのが7人、「方言が分からないと生活に困るから」と答えた人も6人いた。習いたくないと答えた2人は「広島方言が好きではないから」や「標準語を使うべきだから」という理由を示した。

いつ頃から方言を学ぶべきだと思うかという質問に対して、「初級から」が1人、「中級から」が6人で、「上級から」と答えた人が8人で1番多かった。

方言を学ぶ場合、ほとんどの人が「標準語とは語形や意味が異なるものを中心とした語彙面」が最も重視されるべきと答えた。

(2) 広島県における日本語学習者に対する方言教育の調査

対象者：広島大学の日本人学生（16名）

広島県で生活する日本語学習者に広島方言を日本語の授業で教えた方がいいと思うかという質問に対して、12人が「質問や要望があれば教えた方がいい」と答えた。3人が「時間的余裕があれば」と答え、1人が「無条件で教えた方がいい」と答えた。理由としては「地域の人や地域社会をより深く理解できるようにするため」と答えた人が7人で一番多かった。4人が「日常生活をより円滑に送れるようにするため」と答え、3人が「誤解やトラブルを防ぐため」と答えた。

どの程度教えておくべきだと思うかと尋ねてみると、「よく使われる方言だけ、聞いて理解できる程度に」と答えたのは10人で最も多かった。3人が「よく使われる方言だけ、使える程度に」教えておくべきだと答えた。

いつ頃から方言を教えるべきかという質問に対して、3人が「初級から」、9人が「中級から」、4人が「上級から」と答えた。

教える内容は「標準語とは語形や意味が異なるものを中心とした語彙面」が最も重視されるべきと答えた人は8人で1番多かった。「アクセントなどの発音面」だと答えた人は3人いた。

留学生が広島方言で話すことについて、「好ましい」と答えた人が9人、「別に何とも思わない」と答えた人が4人、他に「おもしろい」や「親しみが湧く」と答えた人がいた。

自分が留学生と話すとき、どんな言葉を使っているかと聞かれたら、「できるだけ標準語で話すようにする」と答えた人が9人、「意識したことがないから分からない」が3人、「普段と同じ方言で話す」が4人いた。

最後に教えておいた方がいいと思う広島方言を書いてもらい、以下の方言が指摘された。

・・じゃけん/ ・・じゃけえ/ ・・けえ	こまい
・・じゃろ?	・・しちやった (敬語)
・・ん (否定)	・・しとって (敬語)
みやすい	ぱり
たう	さし
たいぎい	みてる
おらぶ	

4. 考察

このアンケートに答えた日本語学習者の多くは日常生活での会話がほとんど理解でき、それは日本人との会話に慣れたからというのが主な理由とされている。というのも、学習者のほとんどが日本に来て6カ月～1年が経ったことを反映していると言える。しかし、学習者が勉強した教室の日本語（標準語）と日々の生活で耳にする言葉との差異について尋ねてみると、多くの人はギャップを感じているようである。ここでの「違い」に広島方言はかなり含まれているのではないだろうか。

広島方言の印象は大体「おもしろい」ということだが、何がおもしろいのかこの調査では聞いていない。しかし、私の意見では学習者にとって、標準語や他の地域の方言との違いが分かってくると、比較するのがおもしろいのではないかと思う。そして、方言は話し言葉であって、家族や友人関係でよく使われているので、方言に親しみを感ずるであろう。「嫌い」と答えた人は音がきれいではない、あるいは丁寧ではないと感じているかも知れない。

日本語学習者のほぼ半数が広島方言とは何かがよく認識でき、大体標準語や他の地域の方言と区別できる。広島方言があまり分らないと答えた人は広島の人とあまり交流していないことに原因があると考えられる。そして、広島でしか生活したことがない人は他の地域の方言が分らないというのは当然であろう。

しかし、他の方言を知っている学習者のうち、関西地方（大阪、京都）の方言は人気があるという結果はおもしろいと思う。「おもしろい」、「柔らかい」、「暖かい」などというイメージがあるが、これは日本人の方言に対する考え方とあまり変わらないのではないかと思う。母語の方言についても「かっこいい」、「おもしろい」、「地域の特徴を表す」などというイメージがあり、日本語の方言に対する姿勢に影響を与えていると考えられる。

この調査の結果で、すでに方言を使って、日本語で話している学習者は3分の1以上という事が分かる。方言を使っている人はほとんど20代前半という若い年齢だといえる。

日本人学生を対象とした調査では、留学生が方言で話すことについて、肯定的な考えを抱いているという結果が得られたものの、日本人は留学生と会話をするとき、なるべく標準語を使うようにしているそうである。また、留学生が方言を使うと、日本人はびっくりしたり、笑ったりするということである。本当に留学生が方言で話すことが好ましい、あるいは当然であるという意見を持っているのなら、そういう反応をしないではないかと思う。笑われると、学習者は方言を使ってみようという気持ちがなくなるのではないだろうか。

学習者の日本語教育における方言の受容意識はとても高いと言える。日本人学生も学習者の要望を配慮し、方言教育を何らかの形で取り入れるべきだと考えられている。しかし、なぜ教えるべきかという理由は学習者と日本人学生では少し違う。日本人は「地域社会をより深く理解できるようにするため」と答えた人が多いが、学習者は「おもしろいから」という理由が多かった。しかし、その中に、「地域の文化などを知ることがおもしろい」というのが含まれているかも知れない。

おそらく、これから一番重要な課題となるのは教えるべき程度ということだと思う。理解レベルか運用レベル、またはできるだけたくさんの方言、それともよく使われている方言だけ、という4つのグループで分析すると、日本人と学習者の違いもでてくるが、学習者の答えも一致していないことが分かる。日本人学生のほとんどはよく使われている方言だけを聞いて理解できる程度まで教えるべきと答えた。学習者の答えを見ると、理解レベルが12人で一番多かったが、そのうちの8人は「できるだけたくさんの方言」が理解できるように学びたいと答えた。それに運用レベルまで習いたいという3分の1の学習者の要望をどのように答えればいだろうか。さらに、方言を習いたくないという学習者は少数派だが、方言教育を導入する場合、彼らを説得しなければならない。

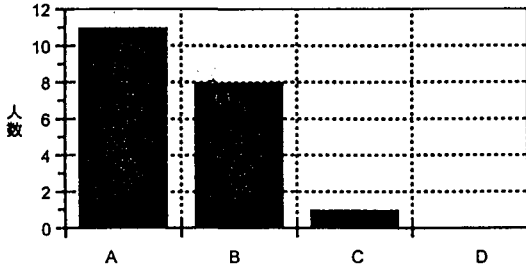
いつ頃から方言を教えるべきかという質問に日本人はほとんど「中級から」、学習者は「中級から」と「上級から」と2つに分かれた。中級は日常生活でよく使われている語彙や文法を学ぶ段階なので、よく使われている話し言葉である方言をその段階で教えておいた方がいいと思う。

発音面、語彙面、文法面など、全体的に方言を教えるべきであろうが、調査の結果では、標準語とは語形や意味が違うものを中心とした語彙面をもっとも重視すべきだという意見が多かった。

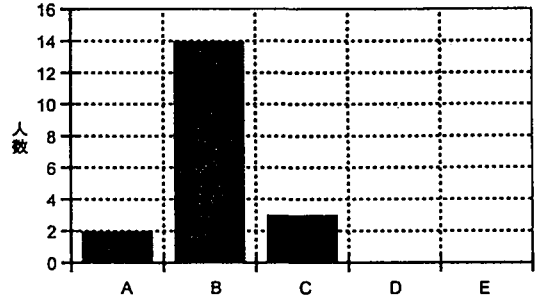
方言が分かる、あるいは話せると、より円滑に地域社会に溶け込むことができると言えるであろう。学習者の意欲を尊重し、積極的に方言教育の導入に取り組んでいただきたいと思う。

広島県における日本語学習者の方言意識、方言教育の必要性についての調査

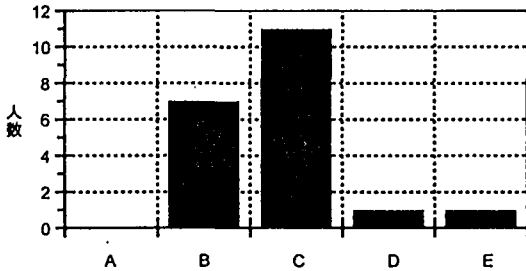
日本人学生との交流



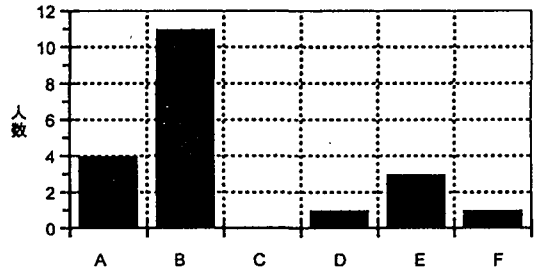
(1) 日本人との会話の理解



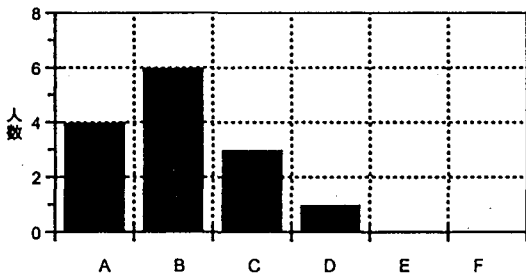
(3) 授業の日本語と周りの日本人が使っている日本語



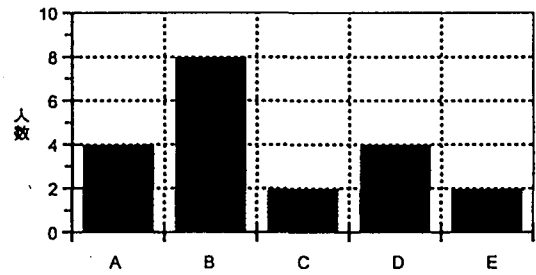
(4) 広島方言のイメージ



(9) 留学生が方言で話している時の日本人の反応

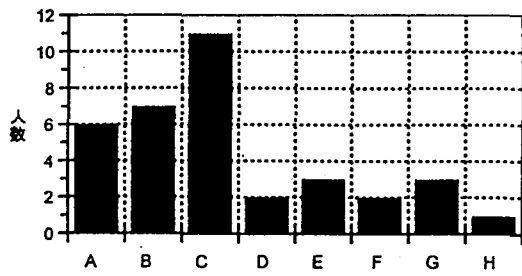


(10) 方言教育に対する学習者の希望

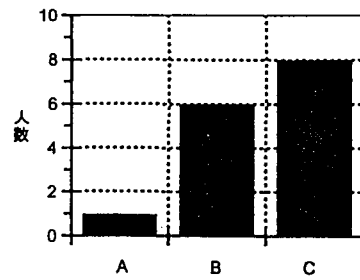


(8)

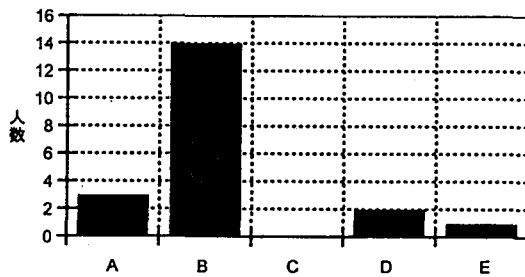
(11) 前項でそう答えた理由



(12) いつ頃から学ぶべきか

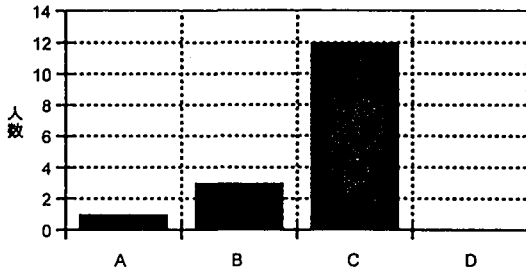


(13) 方言教育の重視されるべきこと

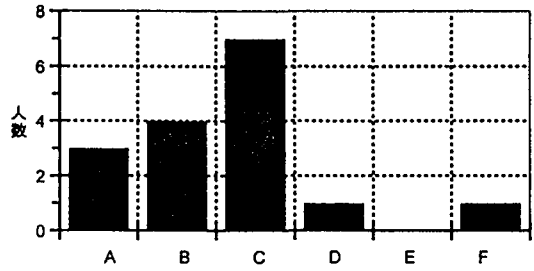


広島県における日本語学習者に対する方言教育の調査

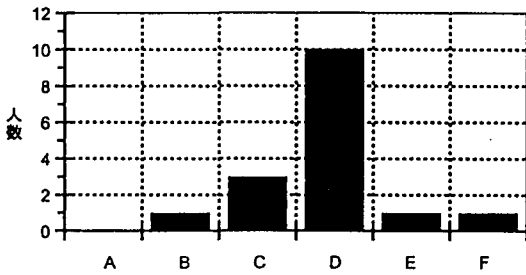
(1) 方言教育の必要性



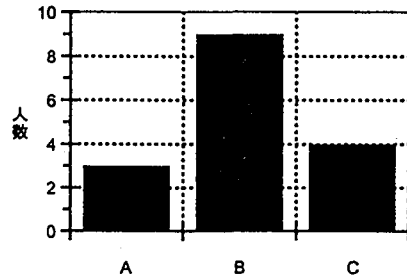
(2) 必要である理由



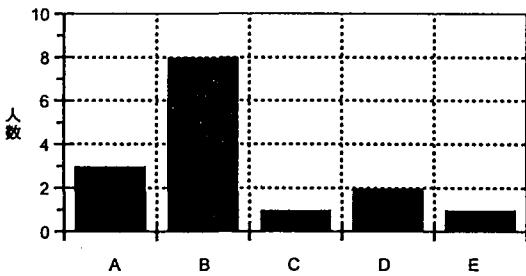
(3) 教えるべき程度



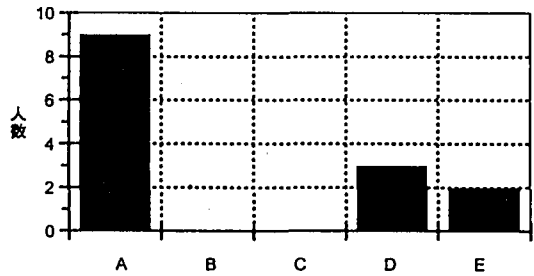
(5) いつ頃から教えるべきか



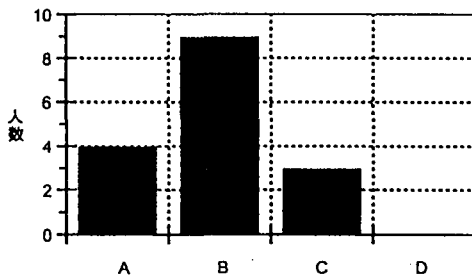
(6) 方言教育のもっとも重視されるべきこと



(7) 留学生が方言を話すことについて



(8) 留学生と話するときの言葉



広島県における日本語学習者の方言意識、方言教育の必要性についての調査

私は広島大学の留学生センターで勉強しているシャーニー・トバイアスと申します。

日本語学習者は方言、（とりわけ広島方言）に対して、どんなイメージを持っているか、または日本語教育において、方言を教えるべきかということについて研究しています。

このアンケートを7・17（金）までに返してください。私に直接会わなければ、C111の私のボックスに入れてください。

ご協力お願いいたします。

シャーニー・トバイアス

電話番号： XXXXXXXXXX

(i) 日本語学習者の立場から見る方言のイメージ

国籍： _____ 性別：男・女 年齢： ____ 歳

いつ日本に来ましたか。 _____

いつ広島に来ましたか。 _____

広島大学での学習資格は何ですか。

- a. 学部生
- b. 大学院生
- c. 研究生
- d. 日本語・日本文化研修コース
- e. その他 _____

留学生センターで受けている授業のレベルは何ですか。 1・2・3・4・5

広島大学の日本人学生と交流していますか。

- a. よく交流している
- b. 少し交流している
- c. ほとんど交流していない
- d. 全然交流していない

1. 日本人との会話が理解できますか。
 - a. すべて理解できる
 - b. ほとんど理解できる
 - c. 半分ぐらい理解できる
 - d. あまり理解できない
 - e. 全然理解できない

2. 前項の答の理由は何ですか。

<ol style="list-style-type: none">a. 日本人との会話に慣れたからb. 日本人が簡単な日本語で話すからc. 日本人がゆっくり話すからd. 日本人がジェスチャーなどをするからe. 知っている語が多く使われているからf. その他_____	<ol style="list-style-type: none">a'. 日本人との会話に慣れていないからb'. 日本人が難しい日本語で話すからc'. 日本人が速く話すからd'. 日本人がジェスチャーを使わないからe'. 日本人の話に知らない語があるから
---	--

3. 日本語の授業で勉強した日本語と、周りの日本人が話す言葉は同じですか。
 - a. 全く同じ
 - b. ほとんど同じ
 - c. 半分ぐらい同じ、半分ぐらい違う
 - d. かなり違う
 - e. 全然違う

4. 広島方言について、どう思いますか。
 - a. 好き
 - b. おもしろい
 - c. 恥ずかしい
 - d. 難しい
 - e. 嫌い
 - f. 何も感じない

5. 広島方言と標準語の違いが分かりますか。
- a. 分かる
 - b. だいたい分かる
 - c. あまり分からない
 - d. 全然分からない
6. 他の地域の方言を聞くと、それが違う地域の方言だと分かりますか。
- a. すぐ分かる
 - c. あまり分からない
 - d. 全然分からない
7. 日本のどこの方言が1番好きですか。 _____
(他の方言を知らない人は答えなくてもいいです。)
- また、なぜ好きですか。 _____
8. 母語には方言がありますか。 はい・いいえ
- (「はい」と答えた人) 方言に対してどんなイメージがありますか。
- _____
9. 日本人学生の友人と話す時、方言で話していますか。 はい・いいえ
- (「はい」と答えた人) 方言を使うと、日本人はどんな反応をしますか。(複数回答可)
- a. びっくりする
 - b. 笑う
 - c. 日本語が上手だとほめてくれる
 - d. 方言を使わない方がいいと注意する
 - e. 特別な反応はない
 - f. その他 _____

10. 広島県の方言を習いたいと思いますか。
- できるだけたくさんの方言を、話せる程度に習いたい
 - できるだけたくさんの方言を聞いて分かる程度に習いたい
 - よく使われる方言だけ、話せる程度習いたい
 - よく使われる方言だけ、聞いて分かる程度に習いたい
 - 習いたくない
11. 前項でそう答えた理由は何ですか。(複数回答可)
- 方言が分からないと、生活に困るから
 - 居住地の方言を学ぶのは当然だから
 - おもしろいから
 - 広島方言が好きだから
 - 方言で話す必要はないから
 - 標準語を使うべきだから
 - 広島方言が好きではないから
 - 方言が分からなくても生活に困らないから
 - その他 _____
12. 広島方言を習いたいと答えた人はいつ頃から学ぶべきだと思いますか。
- 初級から
 - 中級から
 - 上級から
13. 方言を学ぶ場合、何を最も重視されるべきだと思いますか。
- アクセントの違いなどの発音面
 - 標準語とは語形や意味が異なるものを中心とした語彙面
 - 敬語や使役などの表現、文法面
 - 慣用的な表現、言い回し
 - その他 _____

ご協力ありがとうございました
シャーニー・トバイアス

広島県における日本語学習者に対する方言教育の調査

私は広島大学の留学生センターで勉強しているシャーニー・トバイアスと申します。
日本語教育において、方言を教えるべきかどうかということについて研究しています。
ご協力お願いいたします。 電話番号：

1. 広島県で生活する日本語学習者に広島方言を日本語の授業で教えた方がいいと思いますか。
 - a. 無条件で教えた方がいい
 - b. 時間的余裕があれば教えた方がいい
 - c. 質問や要望があれば教えた方がいい
 - d. 教える必要は全くない

2. その理由は何ですか。
(質問(1)で a-c を答えた人)
 - a. 誤解やトラブルを防ぐため
 - b. 日常生活をより円滑に送れるようにするため
 - c. 地域の人や地域社会をより深く理解できるようにするため
 - d. 学習の意欲に答えるため
 - e. 生活している地域の言葉は理解できる必要があるから
 - f. その他 _____

3. どの程度教えておくべきだと思いますか。
(質問(1)で a-c を答えた人)
 - a. できるだけたくさんの方が使える程度に
 - b. できるだけたくさんの方が聞いて理解できる程度に
 - c. よく使われる方言だけ使える程度に
 - d. よく使われる方言だけ聞いて理解できる程度に
 - e. 学習者から質問があれば答える程度に
 - f. その他 _____

4. 質問(1)で d, 「教える必要は全くない」と答えた人は、その理由は何ですか。
 - a. 生活の中で自然に覚えていくから
 - b. 生活に困らないから
 - c. 標準語を使った方がいいから
 - d. その他 _____

5. 広島方言を教えるべきと答えた人はいつ頃から教えるべきだと思いますか。
- 初級から
 - 中級から
 - 上級から
6. 方言を教える場合、何が最も重視されるべきだと思いますか。
- アクセントの違いなどの発音面
 - 標準語とは語形や意味が異なるものを中心とした語彙面
 - 敬語や使役などの表現、文法面
 - 慣用的な表現、言い回し
 - その他 _____
7. 留学生が広島方言を話すことについて、どう思いますか
- 好ましい
 - 変だともう
 - あまり好ましくない
 - 別に何とも思わない
 - その他 _____
8. 留学生と話す時、どんな言葉で話していますか。
- 普段と同じ方言で話す
 - できるだけ標準語で話すようにする
 - 意識したことがないから分からない
 - その他 _____
9. 広島方言で、これは教えておいたほうがいいと思うものがあれば具体的に書いてください。